

① 研究課題名：

日本産科婦人科学会周産期委員会 周産期登録事業及び登録情報に基づく研究

② 研究の目的：

名古屋市立西部医療センター産婦人科では、日本産科婦人科学会周産期委員会が行う多施設共同研究に参加しています。この研究は、日本における妊娠から出産後までの情報（妊婦・胎児の状態、出産後の転帰など）を集計・解析し、データベース化することにより、日本の周産期領域の現状を把握することを目的としています。

③ 研究期間：

西暦 2019年 5月 ～ 2027年 12月 31日

④ 研究代表者及び研究実施施設一覧

研究代表者：浜松医科大学 産科婦人科学 金山尚裕

研究実施施設：周産期登録加盟施設http://www.jsog.or.jp/public/shisetu_number/index.htm
(登録参加施設は日本産科婦人科学会ホームページで公開されています)

⑤ 研究の対象：

名古屋市立西部医療センターにおいて、妊娠 22 週以降に分娩をされた方

⑥ 調査項目：

- a) 母体情報：入院理由、不妊治療の有無、妊娠・出産回数、喫煙飲酒歴、母身長、非妊娠時体重、分娩時体重、妊娠週数、分娩時年齢、分娩方法、麻酔法、分娩胎位、誘導・促進分娩の有無等、産科合併症、母体処置内容、母転帰、産科既往症、基礎疾患、感染症、使用薬剤
- b) 児情報：胎数、多胎の場合の順位及び種類、胎児治療の有無、出産体重、性別、身長、頭囲、児転帰、形態異常、児疾患名、胎児付属物（胎盤重量、臍帯長、羊水混濁、単一臍帯動脈、臍帯付着異常など）、転帰

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より【調査する項目】の情報を調査し、日本産科婦人科学会周産期委員会から配布される CD-ROM にデータ登録し、集計・解析されます。さらに、登録されたデータは新たな別の研究に利用（「二次利用」と呼ばれます）されることがあります。その際は、データを利用する医療機関において、科学性及び倫理性に関する審査を再度受け、承認が得られた後に行われます。二次利用が行われる場合、日本産科婦人科学会ホームページ上にて内容が公開されます。

⑧ 研究成果の公開

日本産科婦人科学会ホームページ（<http://www.jsog.or.jp/>）に公表されます。また、二次利用された結果は、研究代表者の責任のもと、学会発表・論文発表が行われます。

⑨ 個人情報の保護

情報を提供する際、個人を特定する情報（あなたのお名前、ID、住所等）は削除し、新たな番号を付番して匿名化されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加したくない（あなたの診療録の情報を使ってほしくない）、二次利用にあなたの診療情報を使ってほしくない場合には、医療者にその旨をお伝えください。

⑩ 利益相反

本研究は、日本産科婦人科学会周産期委員会予算により実施されます。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	所属	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 住所：〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1	産婦人科	西川 尚実 TEL：052-991-8121（代表）